

幸福実現NEWS

党員
限定版
第35号

THE HAPPINESS REALIZATION NEWS

発行所 幸福実現党本部 〒107-0052 東京都港区赤坂2-10-8
電話 03-6441-0754 ©幸福実現党本部 2012年

STOP! いじめ

民主党の教育政策を検証する

滋賀県大津市でのいじめ自殺事件をめぐり
教育現場の隠蔽体質、警察の対応などが批判されています。
いじめを苦に自殺をする子供たちは後を絶ちませんが
民主党政権中枢のコメントにも原因の一端が透けて見えます。



写真: Natsuki Sakai / アフロ

いじめ自殺事件を受け、野田佳彦首相は7月16日のテレビ番組で、「一番大事なのは、その周りにいる子です」「(いじめがあれば)見て見ぬふりをしないこと」と発言し、生徒にいじめ対処の責任を負わせています。

1 いじめ禁止法で 安心して学べる 学校づくり

現代のいじめには暴行や恐喝、器物損壊などの犯罪行為が含まれることがあり、場合によってはすぐに警察を呼ぶべきです。被害者の安全を確保し、いじめを行う(あるいは助長する)主体の責任を明確にするには、学校は警察の介入を当然とすべきなのです。

今回の事件をめぐっては、いじめの事実を知らなかった担任教師はもとより、教育委員会や学校の隠蔽体質に大きな批判が集まっています。ともすれば教育現場は、一般社会の正義が通用しない「治外法権」の場と化してしまふ恐れがあるのです。

かねてわが党は「いじめ禁止法(防止法)」の制定を訴えており、教員にはいじめ問題への取り組みを義務化(違反すれば懲戒処分も)するとともに、明らかに犯罪行為を行った生徒は警察に委ねる措置を制度化すべきだと考えます。

2 道徳軽視の民主党政権に いじめ対策は任せられない

こうした中、「日教組のドン」である民主党の興石東幹事長は「学校が悪い、先生が悪い、教育委員会が悪い、親が悪い、と言っている場合じゃない」(7月19日)と、事件の責任を追及すべきではないとの考えを示しました。しかし、いじめ対処の主体がはっきりしないままでは、今後同様の事件が続発しかねません。

いじめを止められるかどうかは、現場の教師や校長にかかっており、加害者を指導して反省・謝罪をさせなくてはなりません。教師は本来、聖職者であり、知識だけでなく善悪を教える道徳教育の担い手なのです。

しかしながら、民主党政権が道徳を軽視していることは、事業仕分けで道徳用教材「心のノート」の児童・生徒への配付をやめさせたことから明らかです。

3 教員の既得権益を排し 教育の質の向上を急げ

「心のノート」の配付とりやめをはじめ、民主党が打ち出した教育政策は、支持団体の日教組の意向を反映したものとなっています。

「全国学力テスト」は、「点数至上主義につながり、子供の学力向上には役立たない」として、全参加方式から抽出方式に変更しました。これにより教師の指導力を測定することが難しくなりました。

10年4月には「高校無償化」を導入。授業料がタダになったことで、教員のプロ意識が損なわれる恐れがあり、また、保護者も授業内容の良し悪しに注文をつけにくくなりました。

「教員免許更新制度の廃止」については先送りの方向ですが、もし廃止されれば、指導力不足の教員の配置転換が進まず、不適格な教員の排除も困難となります。

つまり、民主党政権下の教育行政は教員にかかる負担を軽減し、身分保障の強化につながるものばかりです。このままでは、学校から德育のみならず、知育までもが失われてしまいます。

国家の繁栄の礎は優れた人材の輩出にあります。教員免許を持たなくても、優秀な社会人が教壇に立てるようにする。塾を学校と認めるなど、参入を自由化する……。日本の国際競争力低下が危ぶまれる今、教員の既得権益を排し、教育の質を向上させる幸福実現党の教育政策が求められているのです。



〈幸福実現ニュース〉は幸福実現党の機関紙です。1、2面はネットからダウンロードもできます(無料)。※幸福実現党の党員の方には、全4面のペーパー版が郵送されます(党員登録が必要です)。

PDF版ダウンロード(無料)はこちらから

<http://www.hr-party.jp/new/activity/newspaper>

(注) 1743-1826年。第3代アメリカ合衆国大統領。「アメリカ独立宣言」起草者の一人。

シリーズ 日本再建 15

昨年、中東、北アフリカに広まった「ジャスミン革命」――。原油の9割を中東に依存する日本にとって、混沌を深める中東情勢は対岸の火事ではない。チュニジアでの民衆蜂起から1年半、イスラム世界はどう変化したのか。加瀬英明氏の党政政策部会での講義の一部を紙面掲載する。

昨年1月、チュニジアで民衆が立ち上がり、ベンアリ独裁政権が倒れました。この動きはエジプト、リビア、バーレーンやシリアなどにも広がり、西側のマスコミは「ジャスミン革命」、「アラブの春」と書きたて、日本のメディアはこれに追従しました。

チュニジアのチュニス、エジプトのカイロを埋め尽くした群衆の一人ひとりが、まるで民主主義の父であるトマス・ジェファソン(注)であるかのよう

「民主化につながるが、アラブの春」
しかし、三井物産、日商岩井(現・双日)の中東の顧問を務めた私は、「この動きを『民主革命』と呼んで空騒ぎをするのは間違っており、必ずイスラム原理主義が力を回復させることになる。彼らは反米であり、日本にとってよいことは一つもないだろう」と予見しました。
実際、独裁政権崩壊後に行われた選挙では、チュニジアでもエジプトでも、イスラム勢力が躍進しました。

イスラム原理主義とは、イスラム教に基づいた国家の建設を目指す運動をいい、サウジアラビアやスーダン、イランでは7世紀のマホメットの時代そのままの政治が行われています。音楽は墮落したものと禁じられ、女性が学校に行くこともできません。
一方、アラブ世界の独裁国家は宗教色の薄い世俗的な政権であり、イスラム原理主義を弾圧していません。例えば、カタールは女性の権利が保障され、リビアは本邦に自由な国でした。女性も大学に進学して医者や弁護士になることができたし、ミニスカートをはくこともできたのです。



外交評論家 加瀬英明氏に聞く

イスラムの読み方 どうなる緊迫の中東情勢

(かせ・ひであき)
1936年、東京都生まれ。慶應義塾大学、エール大学、コロンビア大学で学ぶ。77年より福田、中曽根内閣で首相特別顧問として対米交渉に貢献。日本ベンクラブ理事、松下政経塾相談役などを歴任。『個性の時代』『イギリス 衰亡しない伝統国家』(以上講談社)、『天皇家の戦い』(新潮社)、『徳の国富論』(自由社)など著書多数。

水と油のようなものです。つまり、「アラブの春」は民衆の経済的な不満から起きたものであって、民主化につながるものではないのです。

優越感と劣等感の共存

西欧を真似て近代化に取り組んでいたにもかかわらず、アラブ世界ではイスラム原理主義勢力が力を盛り返しています。これは日中関係、日韓関係によく似ています。

中国と朝鮮は古代、日本に文化、文明を教えました。長らく中国人、朝鮮人は「全部、われわれが教えてやったんだ」と胸を張っていたわけです。

ところが、アヘン戦争以降、中国は西洋の半植民地状態となり、日本がはるかに先を行くようになってしまった。ですから今日でも中国人、朝鮮人は日本に対して抜きがたい優越感と、癒しがたい劣等感を持っているわけです。

イスラム世界の人たちも同じです。かつてイスラム圏には医学に建築学、航海術、科学、天文学とあらゆる学問が開花し、ヨーロッパは後進地域でした。やがてヨーロッパとイスラム圏の立場は逆転し、イスラム圏には優越感と劣等感が共存することになります。

それが72年に石油ショックが起こると、原油価格が4倍、5倍、6倍に跳ね上がりました。そうするとアメリカにヨーロッパ、日本などの先進国の大統領や首相、大企業の経営者などが

油ごいにやってくる。石油のおかげで、キリスト教徒や西側の先進国がお辞儀をするようになり、突如としてイスラムは自信を回復したのです。イスラム原理主義に勢いを与えたのは日本でもあるわけです。

このままいくと、イスラム圏は原理主義者たちに乗っ取られてしまいます。イスラム原理主義と中国の軍事的拡張が、日本が直面する危機です。

「カセズ・ロー」で予見される未来とは?

私はかれこれ30年以上、年に2回、ワシントンに呼ばれ、政権の中堅幹部や議会スタッフ、シンクタンクの研究員などに話をします。そこで話した内容がワシントンの友人たちに「カセズ・ロー(加瀬の法則)」と呼ばれることがあります。その一つに、「全体主義国家が夏季オリンピック大会を主催すると、9年後に必ず体制崩壊する」というものがあります。

ヒトラーが1936年にベルリン大会を主催しましたが、その9年後の45年にナチスドイツは跡形もなく崩壊しました。80年にブレジネフ書記長がモスクワ大会を主催すると、9年後の89年、ベルリンの壁が倒れてソ連が消滅しました。

2008年に北京オリンピック大会が行われましたが、法則に従えば、9年後の2017年に中華人民共和国は消滅することになります。その可能性はかなり高いと考えます。

幸福の科学グループ創始者 兼 総裁 大川隆法 大反響!

幸福実現党創始者 兼 党名誉総裁

凛々しく、潔く、美しく――。この国の未来のために、いま、国師と猛女が語りあう。

政治、経済、教育、そして天変地異――。先が見えない日本をどうすれば守れるか? 私たち日本人の幸福な未来へのヒントはこの対談のなかに!

対談者 積量子 幸福実現党 青年局長

大川隆法 大反響!

猛女対談 腹をくくって国を守れ

幸福の科学出版 http://www.irhpress.co.jp/ 0120-73-7707 FAX.03-5573-7701 1,470円以上 国内送料無料で 幸福の科学出版の書籍はホームページ、電話、FAXでもご注文いただけます。発行 幸福実現党